

平成31年度 熊取町社会福祉協議会事業計画

少子高齢化や核家族化が進行する中で、住民一人ひとりが抱える生活課題は多様化し、かつ複雑化しています。また、社会情勢の大きな変化や家族形態や個人の考え方の変化にともない、自治会や地縁組織への加入率低下により、これまで存在した「共に支え合う互助機能」の低下や、「地域住民相互のつながり」の減退が懸念されています。

一方、国においては公的な福祉サービスと併せて、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、地域住民や地域の多様な主体が参画し人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていく『地域共生社会』の実現に向けた取組みを進めています。「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念を実現するために、地域住民の支え合いによる、地域福祉活動は一層重要なものとなっています。

平成30年6月に大阪府北部地震が発生し、また9月には台風21号による大きな被害も発生し、多くのボランティアによる被災者支援が行われました。風雨による大規模な気象災害は「いつでも身近に起こり得るもの」と捉えて、災害への備えの必要性が改めて認識されました。また、地震災害についても南海トラフ地震の発生確率が引き上げられたことなどから、これもまた、「いつでも発生し得るもの」として備える必要性が一段と高くなっています。社会福祉協議会に対しては日常的な業務に加え、災害ボランティアによる被災者支援を最大限に注ぎ込める体制作りが求められるところです。

以上のような社会情勢や常に変化する福祉課題に対し、本会では平成30年度に策定した熊取町第4次地域福祉活動計画に基づき「誰もが安心して暮らすことのできるまち」の実現に向け、平成31年度においては、次に示す4つの重点目標（組織体制の強化などの【**社協事業の発展・強化**】、第4次地域福祉活動計画の推進などの【**地域福祉活動の推進**】、日常生活自立支援事業の推進などの【**セーフティネット施策と相談体制の充実**】、災害ボランティアセンター運営シミュレーションなどの【**災害時における支援体制の構築**】）をはじめとして各種の事業に取り組み、「出会い、ふれあい、みんなで助け合い」の言葉のもと、地域福祉の充実に努めてまいります。

(重点目標)

1. 社協事業の発展・強化

- ◎組織体制の強化及び事業の見直しと充実
- ◎役職員に対する研修体制の強化
- ◎職員ミーティングの実施

2. 地域福祉活動の推進

◎「熊取町第4次地域福祉活動計画」の推進

- ◎小地域ネットワーク活動（校区・地区福祉委員会の活動）の活性化
- ◎地域福祉を支える人材育成と確保
- ◎小・中学生の福祉への関心向上（サロン・ふれあいの集い等への参加）
- ◎ボランティア活動の推進とボランティアセンターの機能強化
- ◎新しい介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）への参画及び協力
- ◎校区福祉委員会・熊取町ボランティアセンター設立 20 周年記念事業の実施

3. セーフティネット施策と相談体制の充実

- ◎「大阪府生活福祉資金制度」の活用
- ◎「日常生活自立支援事業」の推進
- ◎相談事業の強化（総合相談の実施・「CSW」「はーと・ほっと相談室」との連携）
- ◎生活困窮者自立支援事業との連携

4. 災害時における支援体制の構築

◎災害ボランティアセンター資機材の整備

- ◎災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づいた訓練の実施
- ◎災害時における熊取町との連携に向けた情報交換
- ◎災害ボランティア登録制度の推進

事業内容

(下線は新規事業)

【1】法人運営事業

- 定例理事会 (年7回)
- 定例評議員会の開催 (6月、3月)
- 評議員選任解任委員会の開催 (必要に応じ)
- 役員校区委員長研修会の開催 (7月)
- 事業会計監査の実施 (5月)
- 町生活福祉課との連絡会 (月1回)
- 職員ミーティングの開催 (随時)
- 社協会員への加入の促進
- 各種関係機関・団体との連携

【2】ボランティア活動推進事業

ボランティア活動の総合的な窓口として、ボランティア活動希望者の受入れやボランティア依頼者とのマッチング、ボランティアの発掘・育成・援助を行と伴にボランティアに関する情報提供を行い、ボランティア活動の普及啓発を行う。

- ボランティアセンターの運営
 - ・ボランティア活動希望者の受付
 - ・ボランティアニーズの受付
 - ・ボランティア相談の実施 (随時)
 - ・ボランティア保険受付 (随時)
 - ・ボランティア体験プログラムの実施 (7月～9月)
 - ・ボランティア講座の企画実施
 - ・ボランティアセンター設立20周年記念事業の実施
- ボランティア連絡会への支援
 - ・総会開催
 - ・役員会・代表者会議開催
 - ・ボランティアフェスティバル開催
 - ・その他事業支援

【3】災害支援対策事業

- 災害ボランティアセンター体制づくりと、行政並びに各種団体等と連携を図り大規模災害時に運営できる組織づくりを推進する。
- 災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づいた運営訓練の実施
- 災害ボランティア登録制度の充実
- 災害ボランティア登録者交流会及び研修会の実施
- 災害ボランティアセンター資機材の整備
- 近隣市町村社協災害ボランティアセンター支援
- 被災時における各種状況の「見える化」

【4】校区・地区福祉委員会活動・小地域ネットワーク活動の推進

各校区・地区福祉委員は、「ふれあいの集い」や「サロン活動」等を通して、住民同士のつながりを深め、高齢者、障がい(児)者、子育て中の親子、小・中学生等が安心して地域の中で生活できるよう、支え合い助け合う体制づくりを推進する。

- 各校区福祉委員会との連絡調整、活動支援
- 校区委員長会議の開催 年2回(5月、2月予定)
- 小地域ネットワーク活動の推進
 - ・グループ支援活動…ふれあい事業(世代間交流事業)、ふれあい会食会、いきいきサロン、カフェ、子育てサロン、おとなと子どもの地域あいさつ運動(4月、9月、1月)
 - ・個別支援活動…声かけ見守り活動、ふれあい弁当の配食、救急医療情報キットの配布
 - ・小地域ネットワーク活動推進委員会の開催 年2回(7月、2月予定)
 - ・福祉委員会活動説明会 1回(4月予定)
- 福祉委員による福祉施設等視察研修会 1回(7月頃予定)
- 校区福祉委員会設立20周年記念事業の実施

【5】地域福祉活動計画の推進

- 地域福祉活動計画策定委員会の開催(町生活福祉課と合同で開催予定)
- 熊取町第4次地域福祉活動計画の推進
- 熊取町第3次地域福祉活動計画の進捗確認

【6】在宅福祉活動推進事業

- 車椅子貸出し事業
 - 一時的短期的に車椅子が必要な方を対象に貸出し
- 楽しく生きる知恵探し(閉じこもり予防・認知症予防講座:年30回 町受託事業)
- 閉じこもりがちな概ね65歳以上の高齢者を対象に運動指導やレクリエーション等を行い自立を支援する
- 生活支援・介護予防サービス協議体への参画及び協力

【7】善意銀行事業

- 預託金品の受入れ及び払出し
 - ・払出し先…①ボランティア活動推進助成(熊取町ボランティア連絡会、連絡会登録ボランティアグループ)
 - ②災害時におけるボランティアセンター活動費

【8】共同募金配分金事業

- 高齢者対策事業
 - ・ふれあい弁当配食事業 週2回(火・木曜日)
 - 小地域ネットワーク事業の見守り活動の一環として独居高齢者等を対象に実施(実施地区 希望が丘地区)
 - ・いつまでも元気でいきいき講座 年11回(第4木曜日)
 - 概ね65歳以上の独居高齢者及び重度障がい者を対象に、レクリエーションを通じて交流及び健康づくりを支援。セーフティネットの一環と位置付け、安否確認を定期的実施。

○障がい児・者対策事業

- ・障がいのある児童と一緒にいく野外レクリエーション1回（夏休み）
- ・手話講座「ステップアップ講座」 延べ38回（5月～3月）
- ・点字図書作成
- ・朗読CD作成

○児童・青少年対策事業

- ・福祉教育推進事業を支援
- ・児童生徒見守り安全パトロール
学校の夏季、冬季、春季休業中を除く8の付く日に児童の下校時間に安全パトロールを実施
- ・中学生による弁論大会への協力（各学校の開催月）

○ボランティア活動育成事業

- ・ボランティア情報くまとり発行（年4回発行 4月、7月、10月、1月）
- ・ボランティア研修事業
- ・各種ボランティア講座の開催
（ジュニアニューススポーツ体験講座（1回8月）・朗読ボランティア養成講座・朗読ボランティアステップアップ講座・災害ボランティア講座・生活支援ボランティア講座の開催）

○福祉育成援助活動

- ・社協くまとり発行（奇数月 5月、7月、9月、11月、1月、3月）
- ・社協ホームページ
- ・心配ごと相談所の開設 月1回 第3火曜日 民生委員児童委員による相談対応（要予約）
予約時、相談内容により他の相談窓口が適当と思われる場合は情報を提供
- ・介護者支援事業（介護便りの発行支援等）
- ・福祉まつり開催

【9】福祉サービス利用支援事業

○日常生活自立支援事業の実施

- ・判断能力が低下した方を対象に、福祉サービス等の利用支援、日常的金銭管理サービス、預貯金通帳・証書等の預かりサービスを実施

【10】資金貸付事業

○大阪府生活福祉資金の取扱い（相談受付業務）

- ・総合支援資金「生活支援費」「住宅入居費」「一時生活再建費」
- ・福祉費
- ・教育支援資金「教育支援費」「就学支度費」
- ・不動産担保型「生活資金」「要保護世帯向け生活資金」
- ・緊急小口資金
- ・臨時特例つなぎ資金

【CSW、はひと・ほっと相談室との連携を強化し、相談者の自立に向けた支援を行う。】

【11】 町受託事業

- 手話講座（入門基礎課程）の開講
 - ・入門基礎課程 延べ41回（5月～3月予定）
- 点訳講座（手打ちからパソコン打ちまで）の開講
 - ・夜の部 延べ15回（5月～9月予定）
- 家族介護者支援受託事業
 - ・家族介護者リフレッシュ事業（年2回）
 - ・介護教室の開催（年1回）
- 楽しく生きる知恵探し（閉じこもり予防・認知症予防講座：年30回 町受託事業） 再掲

【12】 団体事務局

- 熊取地区募金会
 - ・赤い羽根共同募金運動の推進
- 熊取町介護者（家族）の会
 - ・大阪府下介護者（家族）の会連絡会・泉州ブロック連絡会会議等参加
 - ・「つどい」（月1回開催）へ必要に応じサポート委員として会を援助
 - ・総会開催のサポート
 - ・介護者だより発行サポート（4月、9月、1月）
 - ・他機関との連携をサポート
- 熊取町地域福祉団体連絡会
 - ・定例会議 年2回（必要に応じ臨時会議開催）
- 社会福祉施設等地域貢献委員会（年4回予定）
 - ・貢献委員会活動（おとなと子どもの地域あいさつ運動参加、地域貢献福祉講座開催、地域住民との交流会開催、講師派遣、福祉まつり協力、災害時要援護者支援活動、災害ボランティアセンターシミュレーション参加等）

【13】 その他

- 各種委員会への参画
 - 【会長】
 - ・障害者施策推進委員会
 - ・熊取町防災会議委員及び国民保護協議会
 - ・熊取町地域福祉計画策定委員会
 - ・高齢者保健福祉推進委員会
 - ・自立支援協議会
 - ・大阪府共同募金会評議員会
 - ・泉佐野保護区推進委員会
 - 【事務局長】
 - ・熊取町献血推進協議会
 - ・生活支援・介護予防サービス協議体
 - ・泉佐野所生活保護受給者等自立促進事業協議会
 - 【職員】
 - ・地域生活支援拠点等検討部会
 - ・生活支援・介護予防サービス協議体
 - ・ひまわりネット
 - ・泉南地域介護人材確保連絡会